2024年6月13日(週刊)

最新の開花情報は
公園HPをご覧ください。

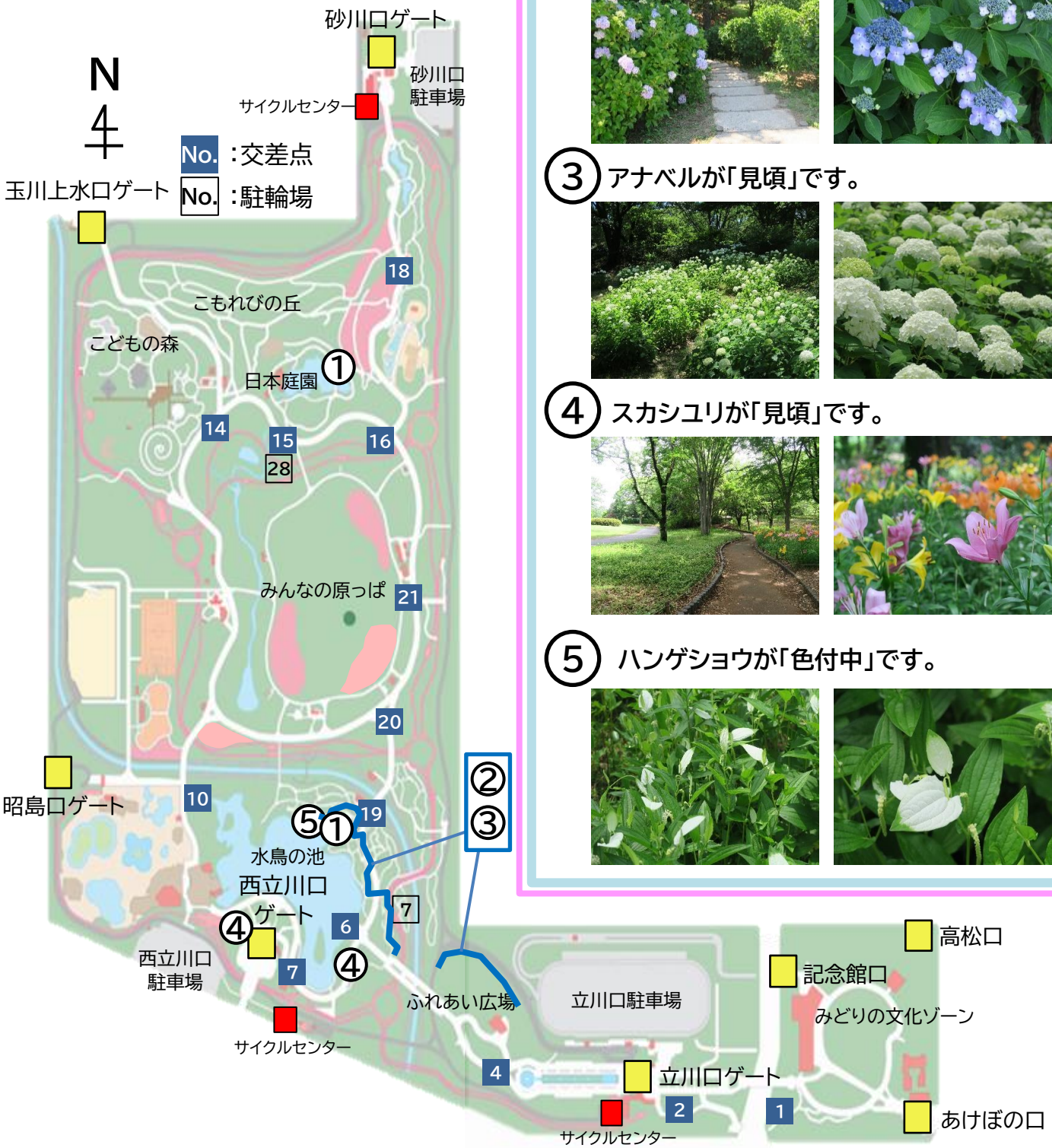
① ハナショウブが「見頃後半」です。

② アジサイが「見頃」です。

③ アナベルが「見頃」です。

④ スカシユリが「見頃」です。

⑤ ハンゲショウが「色付中」です。



週刊花だより

2024.6.13(木)

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
草花	スイレン	スイレン	開花中	花木園菖蒲田、日本庭園	見た目が似ているものにハスがありますが、ハスは葉が水面から立ち上がるのに対し、スイレンは葉が水面に浮かぶ特徴があります。
	ネジバナ	ラン	開花中	日本庭園、園内各所の芝生地	芝生地でピンクや白の小さな花をらせん状に咲かせます。モジズリという別名もあります。
	スイセンノウ	ナデシコ	開花中	花木園ロックガーデン	南ヨーロッパ原産の草花です。フェルトのような質感の葉っぱや茎が特徴的です。
	ハンゲショウ	ドクダミ	色付中	ハーブ園西側(水鳥の池北岸)	日当たりの良い湿地などで育ちます。花が咲く時期になると葉が一部を残して白色に変化します。
	クガイソウ	オオバコ	見頃	花木園ロックガーデン	青紫の花を長い穂状につけます。傘に見立てた輪生葉が全部で9層あることから名前が付けられたとされています。
	スカシユリ	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂 ふれあい橋南西花壇	花びら同士の間に隙間があり、花の後ろが透けて見えることから名前がつけられました。
	ハナショウブ	アヤメ	見頃 後半	花木園菖蒲田、日本庭園	葉がショウブに似ており、花を咲かせることからハナショウブと名が付きました。元々はノハナショウブを品種改良した園芸種です。
樹木	キンシバイ	オトギリソウ	開花中	日本庭園	枝垂れた枝の先端にうつむき加減に黄色い花を咲かせます。江戸時代に中国から渡来しました。
	リョウブ	リョウブ	開花中	野草のこみち	初夏、長い白色の総花序を咲かせます。新芽は食用になる救荒植物で、飯に炊き込みリョウブ飯として食べられていました。
	ヤマアジサイ	アジサイ	開花中	日本庭園	林内の湿った木陰に自生している植物です。アジサイよりも全体的に小型で、細く柔らかな花姿をご覧いただけます。
	ノリウツギ	アジサイ	開花中	第3サークル周辺園路沿い ふれあい広場北側斜面	開花始めはガクアジサイのような形状からゆっくり伸びて房状となります。枝をもむとノリのようにべたつく特徴もあります。
	シモツケ	バラ	開花中	CHUMS周辺、こもれびの池	昔の下野の国(現栃木県)で最初に見つけられた植物とされています。
	サンゴジュ	レンプクソウ	見頃	渓流広場西、花木園展示棟前	枝先に伸びた花序に、白い小花を沢山咲かせます。花の後には赤い実をたくさん付けます。
	アジサイ	アジサイ	見頃	花木園、ふれあい広場北側斜面 園内各所	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約9000株のアジサイが植栽されています。
	アナベル	アジサイ	見頃	花木園展示棟前、ふれあい橋北 ふれあい広場北側斜面	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
	タイサンボク	モクレン	見頃	原っぱ東側園路沿い、花木園 ふれあい広場北側斜面	日本では公園樹としてよく植栽される常緑高木です。近縁種のヒメタイサンボクは落葉小高木です。
	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下	北米原産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がって咲きます。
ハーブ園	アカンサス	キツネノマゴ	開花中	花木園売店前	光沢のある葉に伸ばした花穂が特徴的です。
	タイム	シソ	開花中	ハーブ園	多数の園芸品種が栽培されていおり、古くからハーブとして用いられています。日本では、イブキジャコウソウというタイムの仲間が自生しています。
	その他、ガウラ、オルレア、デイリリー、エキナセアなどが開花しています。				
こもれびの丘	ホタルブクロ	キキョウ	開花中	こもれびの丘南斜面	大きな円筒形の袋のような花を咲かせます。昔、こどもがホタルを花の中に入れて遊んでいたかもしれないと想像して付けられた名前です。
	ウツボグサ	シソ	開花中	こもれびの丘南斜面	淡紫色の花を穂状に咲かせます。山野の林縁に咲くため、群生しているとよく目立ちます。
盆栽苑	床の間展示	盆栽の「ブーゲンビレア」と添え草の「黄金風知草」をご覧いただけます。			